

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-228277

(43)公開日 平成8年(1996)9月3日

(51)Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	府内整理番号	F I	技術表示箇所
H 04 N 1/387			H 04 N 1/387	
1/00			1/00	B
1/32			1/32	Z
// G 06 F 3/14	3 1 0		G 06 F 3/14	3 1 0 A

審査請求 未請求 請求項の数6 FD (全7頁)

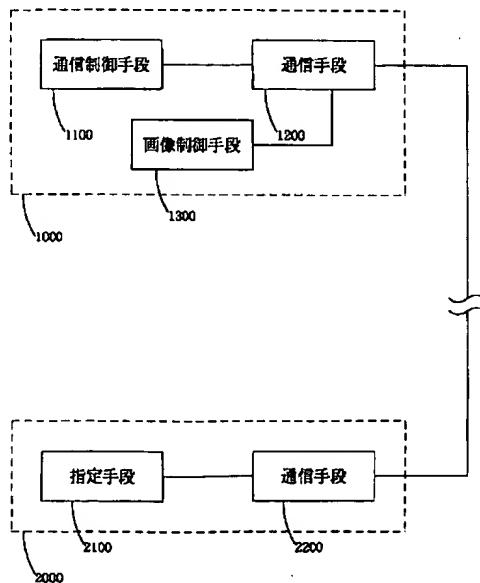
(21)出願番号	特願平7-55118	(71)出願人	000001007 キヤノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
(22)出願日	平成7年(1995)2月20日	(72)発明者	潤間一博 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ ノン株式会社内
		(74)代理人	弁理士 川久保 新一

(54)【発明の名称】 ファクシミリ装置および通信方法

(57)【要約】

【目的】 余白の色を指定できるファクシミリ装置および通信方法を提供することを目的とする。

【構成】 送信側ファクシミリ装置1000において、通信の際にプロトコル上で受信側ファクシミリ装置2000により指定される余白色情報を格納する通信用情報を作成する通信制御機能1100と、上記通信用情報を送受信する通信機能1200と、余白色情報に従って余白部分を画像データに変換する画像処理機能1300とを設け、受信側ファクシミリ装置2000において、出力装置5、7の特性に応じて余白部分を再生出力するための余白色情報を指定する指定機能2100と、上記余白色情報の格納された通信用情報を送受信する通信機能2200とを設けた。



K8182

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 読み取り画像サイズと送信画像サイズとの差に基づく余白に関する余白色情報を受信側ファクシミリ装置から受信する通信手段と、この受信した余白色情報に応じて、読み取り画像データに付加する余白データを画像データに変換する画像処理手段とを有することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 請求項1において、

前記画像処理手段は、受信側ファクシミリ装置によって余白色情報が得られなかった場合には、予め設定されているデフォルト色で前記余白部分を画像データに変換することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】 請求項1において、

前記通信手段は、受信側ファクシミリ装置に前記余白色情報を要求する通信用情報を送信し、通信用情報に対して返送された前記余白色情報を受信することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項4】 請求項1において、

受信側ファクシミリ装置は、受信側ファクシミリ装置の出力装置の特性に応じて、前記余白部分を再生出力するための前記余白色情報を送信側ファクシミリ装置に送信する通信手段を有することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項5】 請求項3において、

前記受信側ファクシミリ装置は、手動操作で前記余白色情報を指定する指定手段を有することを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項6】 受信側ファクシミリ装置は、発生する読み取り画像サイズと送信画像サイズとの差に基づく余白に関する余白色情報を送信側ファクシミリ装置に送信し、送信側ファクシミリ装置は、余白データを前記余白色情報に応じた画像データに変換することを特徴とする通信方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、画像データ情報を送受信するファクシミリ装置およびその画像通信方法に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来のファクシミリ装置において、画像データを送信する際に発生する読み取り画像サイズと送信画像サイズの差である余白部分については、単に白データのみをうめるだけで、特別な処理は行われていなかった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来例では、余白データに関して画一的な色で処理を行っているために、受信側ファクシミリ装置の出力装置の特性よっては画像を見づらくなってしまう場合がある。

【0004】例えば、出力装置がCRTなら、バック画

面と同一の黒である方が好ましく、また、出力装置がプリンタならば、紙の色に合わせて余白の色を指定した方が好ましい。

【0005】そこで、本発明は、余白の色を指定できるファクシミリ装置および通信方法を提供すること目的とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】本発明は、読み取り画像サイズと送信画像サイズとの差に基づく余白に関する余白色情報を受信側ファクシミリ装置から受信する通信手段と、この受信した余白色情報に応じて、読み取り画像データに付加する余白データを画像データに変換する画像処理手段とを設けたものである。

## 【0007】

【実施例】図1は、本発明の一実施例におけるファクシミリ装置の機能を示すブロック図である。

【0008】図1において、送信側ファクシミリ装置1000は、受信側ファクシミリ装置2000により指定される余白色情報を格納するための通信用情報を作成する通信制御手段1100と、当該作成された通信用情報を受信側ファクシミリ装置2000に送信し、受信側ファクシミリ装置2000より送られてきた余白色情報を格納した通信用情報を受信する通信手段1200と、この受信した前記通信用情報中の余白色情報に従って余白を画像データに変換する画像制御手段1300とを備えたものである。

【0009】一方、受信側ファクシミリ装置2000は、このファクシミリ装置に接続された出力装置の特性を判別し、前記出力装置に応じた余白を通信用情報に格納された余白色情報を指定する指定手段2100と、送信側ファクシミリ装置1000から送られて来る前記通信用情報を受信し、送信側ファクシミリ装置1000へ前記余白色情報を格納した通信用情報を送信する通信手段2200とを備えたものである。

【0010】図2は、本実施例における白黒用またはカラー用ファクシミリ装置のハードウェアの構成を示すブロック図である。

【0011】同図において、MPU1は、本装置全体を制御するマイクロプロセッsingユニットである。ROM2は、MPU1の命令セットが予め格納されている読み出し専用メモリである。RAM3は、MPU1のワークエリアとして、各種データを読み出し、書き込み可能なランダムアクセスメモリである。

【0012】SCU4は、画像を入力するスキャナ制御装置であり、PCU5は、画像を出力するプリンタ制御装置である。CCU6は、画像データの送受信を制御する通信制御装置であり、CRT7は受信した画像データを表示するためのディスプレイである。

【0013】DU8は、フロッピーディスクやハードディスク等の外部記憶装置であり、MU9は、入出力のバ